

## 業界最大規模の小売店パネルデータ「SRI」 生鮮食料品・惣菜のマーケットデータのテスト提供開始

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:石塚 純晃)は、日本国内で展開している全国小売店パネル調査「SRI」の市場監査データにおいて、11月12日より生鮮・惣菜 POS データ(週次、月次)のテスト提供を開始することをお知らせいたします。

インテージの「SRI」は、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、ドラッグストアなどの全国約 4,000 店の商品取引データを収集している、日本最大規模の POS データベースです。

データの品目(カテゴリー)は食品、飲料、アルコール、日用雑貨、医薬品、化粧品など多岐にわたり、約 300 カテゴリーで約 100 万点ですが、これまで JAN コード\*が付番されていない生鮮食料品、惣菜などは収集対象外となっていました。生鮮食料品は、スーパーマーケットの売上の 30~40%近くを占めるといわれており、売場においては“旬”を伝える商材として重要な存在です。このたび、「SRI」に生鮮食料品、惣菜のデータが加わることで、流通小売業にとってより重要なマーケティングデータになることが期待されます。

\*バーコードとして商品などに表示されている日本の共通商品コード

### 【テスト提供データの概要】

- 同じ商品でも各チェーン店が独自に付番しているインストアコードを、インテージが作成した統一分類に変換することで、同一商品としての集計が可能になりました。
- 農産物、畜産物、水産物、惣菜(デリカ)といった生鮮食料品・惣菜、約 600 種類が提供対象です。生鮮 3 品の分類は、公益財団法人食品流通構造改善促進機構が開発した標準商品コードを参考に作成しています。
- 業態は、スーパーマーケット(GMS 含む)のデータとなります。
- テスト提供期間中は全国 400 店舗での週次、月次集計データとなりますが、正式提供開始は、2015 年 4 月、600 店舗を予定しています。

生鮮・惣菜 POS データを利用することで、スーパーマーケットにおける生鮮食料品・惣菜のマーケットサイズ・伸長率・季節性の把握が可能になり、商談の場においては、生鮮・惣菜の視点からの新しい発見、説得力のある提案へと活用幅が広がります。インテージは、今後も「SRI」の充実をはかり、当社の保有する能力と専門性を活かすことで、消費財・流通小売業に関するインサイトの提供サービスをさらに強化して、これを発展させることを目指します。

- ◆この生鮮・惣菜 POS データは、インテージ、一橋大学、新日本スーパーマーケット協会が共同プロジェクトで開発した『SRI 一橋大学消費者購買指数』の基礎データにも取り込んでいく予定です。

共同プロジェクトについて <http://www.intage.co.jp/shisuu/>

【株式会社インテージ】 <http://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:石塚 純晃)は、インテージグループ各社とともに、リサーチノウハウ、データ解析力、システム化技術と、これらに基づく情報評価力をコア・コンピタンスとして、経営およびマーケティング上の意思決定に役立つ情報(Intelligence)を提供。生活者とお客様を「情報」でつなぎ、お客様のビジネスの成功に貢献することによって、その先の生活者の暮らしを豊かにすることを目指します。

【この件に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージ 広報担当

担当:中路(なかじ)／佐藤(さとう)

TEL:03-5294-6000 FAX: 03-5294-8318

サイト「お問い合わせフォーム」 <http://www.intage.co.jp/contact/>

【商品・サービスに関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージ FMCG 事業本部

担当:永松(ながまつ)／林(はやし)

TEL:03-5294-8302 FAX: 03-5294-8379